

教科	国語		科目	現代文 B	単位数	2
学年	2年		類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編現代文 B (東京書籍)					
副教材(出版社)	新編現代文 B 学習課題ノート (東京書籍)					
授業の概要	教材の読解を通して、基礎的な理解力や要旨を把握する力を養う。また、グループ学習などを通して多様な思考に触れ、主体的な考察を行うとともに、自身の思考を表現したり発表したりする。					
授業の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。様々なジャンルの文章を的確に理解する能力を養成し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、豊かな感受性を養う。					
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 随想 ・ さくらさくらさくら 2 詩歌 ・ I was born 3 評論 1 ・ 生命とは何か 4 詩歌 ・ 信濃路	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜の花に対する日本人独自の感性と筆者の思いを理解する。</li> <li>散文詩を読み、蜻蛉のイメージに託された生命への思いを深く味わう。</li> <li>論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議について理解する。</li> <li>短歌の修辞技巧を理解し、それぞれの短歌に詠まれた情景や作者の思いを読み取る。</li> </ul>			
	2 学期	1 小説 1 ・ みどりのゆび 2 評論 2 ・ 思考の肺活量 3 働くよろこび ・ 分からないからおもしろい	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説における表現の工夫を理解し、場面展開を的確に読み取る。</li> <li>人物関係や、主人公の心情を読み取り、自分の感想を文章にまとめる。</li> <li>論理の展開を正確に読み取らせ、思考のあるべき姿について理解する。</li> <li>抽象的な概念を表す語句を理解する。</li> <li>筆者の体験をもとにした、労働に対する考え方を読み取る。</li> <li>「働くこと」についての自分の考えをまとめる。</li> </ul>			
	3 学期	1 小説 3 ・ ころ	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本近代文学の代表的な作品を読み、現代に通じる問題意識を読み取ることで、作品主題の普遍性を理解する。</li> </ul>			
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしているか。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、発展させているか。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けているか。	
備考	5つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					



教科	国語	科目	古典 B	単位数	3
学年	3年	類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	高等学校 改訂版 標準古典 B (第一学習社)				
副教材(出版社)	標準古典 B 学習課題集 (第一学習社)				
授業の概要	1 講義形式だけでなく、ペアワークやグループワークなども取り入れながら、基礎知識の定着と読解の深化を図る。 2 古文単語や文法などの小テストを適宜行う。				
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 宇治拾遺物語 ・ 亀を買ひて放つ事  2 説苑 ・ 不顧後患 3 大鏡 ・ 弓争ひ ・ 三舟の才 4 三国志の世界 ・ 水魚之交	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の報恩譚に触れることで、古文に親しむ態度を養う。</li> <li>起承転結のはっきりした短い説話を読んで、大意把握の力を養う。</li> <li>読みにくい語句に注意して、正確に音読する。</li> <li>論の展開について理解し、主題を読み取る。</li> <li>戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。</li> <li>語り手の視点や判断基準について考える。</li> <li>魏・呉・蜀三国の興亡の概要など歴史的背景について理解する。</li> <li>基本的な句法について理解する。</li> </ul>		
	2 学期	1 源氏物語 ・ 光る君誕生 ・ 若紫  2 三国志の世界 ・ 死諸葛走生仲達  3 蜻蛉日記 ・ 汨坏の水 3 名家の文章 ・ 売油王 ・ 猫相乳	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係を把握し、長編物語特有の話のおもしろさを理解する。</li> <li>和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。</li> <li>本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改められるようになる。</li> <li>話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。</li> <li>日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。</li> <li>敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす力を養う。</li> <li>中国の代表的な文章を読んで、作者の人生観・政治論・教育論を理解する。</li> </ul>		
	3 学期	1 評論 ・ 玉勝間 ・ 兼好法師が詞のあげつらひ	<ul style="list-style-type: none"> <li>宣長のものの見方を参考にして、これまで学習した古典作品を味わい直す。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を身に付け、作品について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしているか。			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしているか。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けているか。
備考	3つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				



教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科・地域ビジネス科		
教科書(出版社)	高等学校改訂版 日本史A 人・くらし・未来(第一学習社)				
副教材(出版社)					
授業の概要	教科書の内容を精選し、近代日本の確立の過程と軍部ファシズムの確立から敗戦にいたる過程、また人々の生活文化や思想を理解する。その中で、単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史的背景、歴史的意義、当時の人々の考え方をつかむ。				
授業の目標	わが国の近現代史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会で平和を愛する日本人としての資質を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1部 私たちの時代と歴史 第2部 近現代の日本と世界 1 近代国家の形成と国際関係の推移 (1) 近代への胎動 (2) 開国と幕末の動乱 (3) 近代国家の形成 (4) 国際関係の推移と近代産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開国と幕末の動乱の推移を理解する。</li> <li>・明治維新の意義と帝国憲法の特徴を理解し、東アジア情勢を考察する。</li> <li>・日清・日露戦争の経過と意義を理解する。</li> <li>・武士社会の経済システムの崩壊から資本主義の成立と発展の過程を理解する。</li> </ul>		
	2 学期	2 両大戦をめぐる国際情勢 (1) 第一次世界大戦と日本 (2) 第二次世界大戦と日本 3 現代の日本と世界 (1) 日本の再出発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両世界大戦への参加した理由と朝鮮・中国への権益の拡大について理解する。</li> <li>・軍部ファシズム体制の成立から敗戦にいたる過程を理解する。</li> <li>・戦後の民主化推進について理解する。</li> </ul>		
	3 学期	(2) 独立後の政治と経済大国への道 (3) 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済大国から経済的停滞になる過程と日本の国際的役割について理解する。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解	
	日本近代史への関心と課題意識を深め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きようとする資質を養う。	近現代史の事件・事象から課題を見だし、文化の多様性と現代社会の特質を多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断する。	日本近現代史に関する興味と理解を深めるため、身近な生活文化や地域の歴史についての情報を活用する方法を身に付ける。	日本の近現代史についての基本的な事柄を、世界の歴史や生活文化と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	地理歴史	科目	地理 A	単位数	2
学年	3 年	類型	情報ビジネス科・地域ビジネス科		
教科書（出版社）	高等学校新地理 A(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)				
副教材（出版社）	地理ワークブック（愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門）				
授業の概要	教科書と副教材をもとに授業を理解する。地名は地図帳で確認し、空間的な認識を深めるとともに、グラフや図表などの資料の活用力を磨く。またワークブックでの作業を通じて、地理的技能を身に付ける。				
授業の目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
年間 学 習 計 画	学習内容（単元・項目）		学 習 目 標		
	1 学 期	1 地上の現象と地球上の位置 2 グローバル化が進む世界  3 人間生活を取り巻く環境 (1) 人々の生活と国境	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀と世界地図の比較、略地図の描図などを通して、地球表面の大陸と海洋の形状や各国の位置関係、方位、時差および日本の位置と領域などについてとらえる。</li> <li>交通・通信の発達、人や物の国際間の移動などに関する資料の収集、分析などを通して、諸地域間の相対的な位置、距離関係が変化し、人々の地理的視野が拡大するとともに国家間の結合や国際貿易などが活発化、複雑化していることをとらえる。</li> </ul>		
	2 学 期	(2) 人々の生活と気候 (3) 人々の生活と産業・文化  4 世界の諸地域の生活・文化 (1) 産業の発達と変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けて追究し、生活・文化を地理的に考察する視点や方法を身に付けるとともに、異文化を理解し尊重することが必要であることについて考察する。</li> </ul>		
	3 学 期	5 地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境、資源エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野から追究し、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解し、それらの課題の解決に当たっては各国の取り組みとともに国際協力が必要であることについて考察する。</li> </ul>		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解	
	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しつつ、国際社会の一員としてその責任を果たそうとしている。	地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	地図や統計、画像などの資料から情報を選択・活用して地理的事象を追究する技能を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現する。	地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	
備 考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	3
学年	3年	類型	地域ビジネス科		
教科書（出版社）	高等学校 改訂版 政治・経済 （第一学習社）				
副教材（出版社）					
授業の概要	教科書に沿って、本文の内容を理解し、議論する。概論だけでなく、時事的トピックも扱いながら現代社会の諸課題を深く学ぶ。				
授業の目標	多角的な視点から現代社会の諸問題についてより深く理解を深め、人間としてのあり方生き方について主体的かつ公正に判断、考察する力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容（単元・項目）		学習目標		
	1 学期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本	民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。民主主義のあり方について理解するとともに、現代政治の特質について把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	2 学期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済	経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのかを理解させる。国際経済に関する基本的な概念や理論を理解しながら、国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。		
	3 学期	第3編 現代社会の諸課題	現代の日本が抱える課題を、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな視点から考え、望ましい解決のあり方を考える。それぞれの課題には、さまざまな角度からの対応策があることを把握しながら、幅広い視点から考察することを身に付ける。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につける。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				



教科	保健体育		科目	体育		単位数	3		
学年	3年		類型	流通経済科・情報ビジネス科・地域ビジネス科・商業科					
教科書(出版社)	現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)								
副教材(出版社)	現代高等保健体育ノート 改訂版(大修館書店)								
授業の概要	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図る運動を実践します。								
授業の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる能力や態度を育成します。</p> <p>2 集団行動を正しく理解し、秩序正しく能率的に行う能力を養い、スポーツにおいて安全と運動効率の向上を目的とし、自己管理を積極的に行う資質を育成します。</p>								
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)			学習目標					
	1 学 期	<p>1 体づくり運動</p> <p>(1) 体ほぐしの運動</p> <p>ア 集団行動(応用動作)</p> <p>イ ストレッチング</p> <p>(2) 体力を高める運動</p> <p>ア 時間走</p> <p>イ 持久走(スポーツテスト)</p> <p>2 球技選択Ⅰ</p> <p>(1) テニス</p> <p>(2) バドミントン</p> <p>(3) 卓球</p> <p>3 体育理論Ⅶ</p>			<p>・自主的な集団行動の定着と日々の活動の中での応用を目指します。</p> <p>・主運動を行う前の、正確な準備運動やストレッチを学びます。</p> <p>・自分の体力の実態を知るため、体力テストを行います。</p> <p>・個人技能や集団的技能の程度に応じてゲームができるようになります。</p> <p>・各技能を発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から作戦を立て、工夫をすることの楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツに生かします。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計について学びます。</p>				
	2 学 期	<p>4 球技選択Ⅱ</p> <p>(1) ソフトボール</p> <p>(2) バレーボール</p> <p>(3) ハンドボール</p> <p>5 球技選択Ⅲ</p> <p>(1) サッカー</p> <p>(2) ハンドボール</p> <p>(3) バスケットボール</p> <p>(4) 卓球</p> <p>6 体育理論Ⅷ</p>			<p>・個人技能や集団的技能の程度に応じてゲームができるようになります。</p> <p>・各技能を発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から作戦を立て、工夫をすることの楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツに生かします。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計について学びます。</p>				
	3 学 期	7 球技選択Ⅲの続き			<p>・個人技能や集団的技能の程度に応じてゲームができるようになります。</p> <p>・各技能を発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から作戦を立て、工夫をすることの楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツに生かします。</p>				
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度		思考・判断		運動の技能		知識・理解		
	<p>・運動の楽しさや喜びを深く味わうために自ら進んで運動しようとしている。</p> <p>・公正・協力・責任などの社会的態度が身に付いている。</p>		<p>・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。</p> <p>・課題解決を目指し、工夫している。</p>		<p>・運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する事項を理解し、身に付けている。</p>		<p>・自己体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。</p>		
備 考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には、各学期の評価を平均し、総合的に評価する。								

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語 III	単位数	4
学年	3年	類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書 (出版社)	Revised BIG DIPPER English Communication III (数研出版)				
副教材 (出版社)	英語総合問題 Seek neo 4 THIRD EDITION (第一学習社) 共通テスト英語プレノート (数研出版)				
授業の概要	1 単語やイディオムの意味を辞書で調べて内容の概要を把握しておく。 2 予習の段階で分からなかった箇所の説明を聞いてノートを取るとともに、ペアワークやグループワークなどを通して自己表現を行う。				
授業の目標	1 様々なジャンルの題材に触れながら、語彙力・表現力を高める。 2 客観問題と記述問題の双方を解くことで入試に必要な読解力を身に付けて、要約文やディスカッションへとつながる表現力を育てる。				
年 間 学 習 計 画	学習内容 (単元・項目)		学習目標		
	1 学 期	Lesson 1 The History of Ekiben Lesson 2 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson 3 Do You Judge People by Their Blood Types? Lesson 4 My Opinion of Zoos Lesson 5 The 55-Year Race Lesson 6 After the Flowers Lesson 7 Online Word-of-Mouth Lesson 8 Kintsugi Lesson 9 Alfred Nobel: A Person of Peace Lesson 10 Art on Display Lesson 11 Keys to Winning Lesson 12 She Sells Seashells by the Seashore	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブサイト、旅行ガイド、パンフレット、新聞など様々な題材に触れ、必要な情報を的確につかみ、文法語法を定着させながら、実生活に生かした自己表現活動につなげる。</li> <li>学習のポイントは、言い換え表現、時間的順序、対比表現、因果関係を表す表現、追加・列挙、スキミング、譲歩などの英文読解に必要なスキルの習得である。適度に短めな英文を音読・暗唱して読解力向上を目指す。</li> </ul>		
	2 学 期	Lesson 13 A New Orchestra and a New Harmony Lesson 14 Swimwear for Speed Lesson 15 The Immortal Jellyfish Lesson 16 Antarctica by Cruise Ship Lesson 17 The Shoe That Grows Lesson 18 Let's Try English Presentations! Lesson 19 Bottled Water? No Water? Lesson 20 Endangered Languages Lesson 21 Left in Space Lesson 22 ハリエット・タブマンの伝記	<ul style="list-style-type: none"> <li>エッセイ、説明文、伝記など心理など代表的なジャンルの題材を通して必要な情報を読み取ったり、環境・自然、文化・国際理解コミュニケーション・情報社会に関連する語句を確認する。また、その情報をもとに適切な表現活動を行う。</li> <li>学習のポイントは、強調構文、使役構文、否定表現 分詞構文、不定詞などを身に付け、語彙力や表現力を高めることである。</li> </ul>		
	3 学 期	Lesson 23 ミツバチの大量死の原因 Lesson 24 人はどれくらい嘘をつくのか Lesson 25 顔認証システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>長めの文章を読んで読解力向上を目指す。また客観問題と記述問題を組み合わせ、入試に必要な力を育てる。</li> <li>学習のポイントは、要約文、ディスカッション、など将来役立つスキルを身に付けることである。</li> </ul>		
観 点 別 評 価	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
	本文を読んだ後に、感想や意見を発表しようとしていたり、発表をしっかりと聞いたりする。また本文内容に関する質問に積極的に答えようとする。	本文に関連する自分の経験や、本文への意見をクラスメイトに説明することができる。パラグラフごとに本文の内容を要約することができる。	聞いたり読んだりした英語の題材について概要や要点をとらえることができる。また、そのために必要な語句や表現、文法事項などの知識を活用することができる。	英語の音声的な特徴や英語を使用している人々の文化的背景について理解している。また、語句や表現、文法事項などの知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基き、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				



教科	外国語	科目	英語会話	単位数	2
学年	3年	類型	地域ビジネス科		
教科書 (出版社)	Hello there! English Conversation (東京書籍)				
副教材 (出版社)	CLOVER 英文法・語法ランダム演習 (数研出版)				
授業の概要	ロールプレイやペアワークなどを通して、基本的な会話表現を身に付けるとともに、英語で相手に理解されるように話すために必要なリズム、イントネーション、音の連結等の「コミュニケーションのための発音」を身に付ける。				
授業の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。 2 英語を通じて、身近な話題について会話することができる。				
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学 期	Lesson 1 Nice to Meet You	[表現] 自分を紹介する、聞き返す、挨拶をする、聞き返す		
		Lesson 2 Hello, Friends!	[文法] be 動詞、短縮形、助動詞(shall)		
		Sakura's Adventure Episode I	[表現] 許可を求める、相手について尋ねる、リストアップ [文法] 助動詞(may)、疑問詞を用いた疑問文、too と either		
		Lesson 3 My Favorite Music	[表現] 入国審査 [表現] 意見を言う、リストアップする [文法] What+名詞の疑問文、存在構文、助動詞(can)		
	2 学 期	Lesson 4 What are You Crazy about?	[表現] リストアップする、興味・関心を伝える、誘う [文法] 現在進行形、助動詞(would, might)		
		Sakura's Adventure Episode II	[表現] 買い物		
		Lesson 5 A friendly Potluck Dinner	[表現] 許可を求める、説明する [文法] 助動詞(may)、主語の省略、命令文、所有代名詞		
		Lesson 6 Are You All Right?	[表現] 同情する、事情を理解する、助言する [文法] 助動詞(should)、現在進行形、命令文		
Sakura's Adventure Episode III		[表現] レストランでの注文			
3 学 期	Lesson 7 Talking About Our Town	[表現] レストランでの注文 [表現] 描写する(距離、方向、場所の特徴) [文法] 時間と距離、方角に関する it、歴史年号			
	Lesson 8 Traditional Culture	[表現] 予定を尋ねる、習慣を尋ねる、説明する [文法] 同格、疑問文における省略、現在進行形(未来)			
	Sakura's Adventure Episode 4	[表現] 道案内			
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解	
	活動の意図を理解し、ロールプレイ・ペアワーク等に積極的に参加できる。それぞれの場面に必要な表現を使って積極的に話すことができる。	挨拶、インタビュー、自分が興味を持っている事柄等、様々な場面で必要な表現を使うことができる。学んだ表現を使って活動を行うことができる。	相手の発話を正しく聞き取って理解し、設問・問いかけに適切に反応することができる。対話文を聞き取り、ストーリーの概要をつかむことができる。	入国審査、海外旅行、音楽、スポーツ・映画、買い物、料理の手順等を英語で理解することができる。英語圏の文化について英語を通して知識を深める。	
備 考	4つの観点に基き、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	外国語	科目	中国語入門	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科・地域ビジネス科		
教科書(出版社)	高校生からの中国語(白帝社)				
副教材(出版社)					
授業の概要	1 各レッスンでテーマに応じた文法事項を学び、読んだり書いたりして練習する。 2 中国語の決まりや文の形を正しく理解し身に付ける。				
授業の目標	1 ペアやグループ学習を通して、自分の考えを相手に正しく理解してもらえるよう、積極的に会話練習を行う。 2 中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	発音: 母音 1 発音: 声調 発音: 子音 1 発音: 母音 2 発音: 子音 2 発音: 母音 3 発音: 母音 4 声調の発音 唐詩: 春曉 第1課: 私は高橋美恵です 第2課: 私は希望高校の生徒です	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な種類の「発音」を学び、中国語独特の母音と子音の発音を身に付ける。</li> <li>「声調」を学び、第一声、第二声、第三声、第四声、轻声の違いを聞き分ける。</li> <li>唐詩を音読し、発音練習の総まとめをする。</li> <li>「姓」と「叫」の使い方を学び、簡単な自己紹介をする。</li> <li>数字と数え方、量詞「个」、「几」や「多少」の使い方を学び、自分の学校を紹介する。</li> </ul>		
	2 学期	第3課: 私は東京に住んでいます 第4課: 私は6時半に起きます 第5課: 私は絵を描くのが好きです 第6課: 自己紹介 第7課: どこで会いますか 第8課: 希望高校へどう行きますか 第9課: いくらですか	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の呼称、動詞「在」の使い方を学び、自分の家のことについて紹介する。</li> <li>時刻の言い方、時間を表す言葉の順序を学び、一日の生活を紹介する。</li> <li>「喜欢」の使い方を学び、自分の趣味や好きなことを紹介する。</li> <li>年齢の聞き方や言い方を学び、自己紹介のまとめをする。</li> <li>月、日の言い方や「在」の使い方を学び、待ち合わせの約束をする。</li> <li>「怎么」+動詞、所要時間の聞き方と言い方を学び、目的地までの行き方や所要時間を尋ねる。</li> <li>「还是」、指示代名詞の使い方を学び、買い物ができるようにする。</li> </ul>		
	3 学期	第10課: どこに行きましたか 第11課: 中国に行きたいです 第12課: 中国の友達への手紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>「了」、形容詞の反復疑問文を学び、行動や感想について話す。</li> <li>「想」、動詞+時間の長さについて学び、計画や希望を伝える。</li> <li>手紙の形式、決り文句について学び、手紙を書く。</li> </ul>		
観 点 別 評 価	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解	
	コミュニケーション活動 を意欲的に図ろうとして いる。学んだ文法を積 極的に使おうとしてい る。	学んだ文法を使って、自分の ことや考えなどを書くことが できる。また、それらに応用し て、まとまった文章を書くこと ができる。	文法を理解し、それ を応用して文章を書く ことができる。まと まった文章を読んだ り、聞いたりすること ができる。	単語、熟語、文法な どについて、その意味 や適切な使い方を理解 している。日本語との 文構造、文化の違いに 興味を持っている。	
備 考	4つの観点に基き、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				



教科	英語	科目	異文化理解	単位数	2
学年	3年	類型	地域ビジネス科		
教科書(出版社)	Watching NEWS (浜島書店)				
副教材(出版社)	Focus on Listening プレスタンダード (エミル出版)				
授業の概要	1 単語やイディオムの意味を辞書で調べて内容の概要を把握しておく。 2 予習の段階で分からなかった箇所の説明を聞いてノートを取るとともに、異文化に対する知識を身に付け、ペアワークやグループワークなどを通して自己表現を行う。				
授業の目標	1 様々なジャンルの題材に触れながら、語彙力・表現力を高める。 2 様々な国の文化や生活様式、歴史や流行などに興味関心を持ち、グローバルな考え方を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	Lesson 1 New NBA Player from Japan Lesson 2 "Vtuber" Kimino Miya Lesson 3 Redesign of Bills Lesson 4 Beautiful Goshuin Lesson 5 Glowing Creatures Lesson 6 Rickshaw Driver (FEATURE) News Watcher	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ、芸術、科学分野など様々な題材に触れ、必要な情報を的確につかみ、文法語法を定着させながら、実生活に生かした自己表現活動につなげる。</li> <li>・学習のポイントは、that 節、現在分詞、過去分詞、不定詞、助動詞、関係代名詞など、英文読解に必要なスキルの習得である。適度に短めな英文を音読・暗唱して読解力向上を目指す。</li> </ul>		
	2 学期	Lesson 7 Yoshino Won the Nobel Prize Lesson 8 Maori Culture as Seen in New Zealand Rugby Lesson 9 Music Knows No Borders Lesson 10 Mukawaryu Lesson 11 Notre Dame Cathedral Lesson 12 Should Convenience Stores Stay Open 24 Hours? Lesson 13 A Lifetime in 1.5 Billion Beats	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境や日本の伝統などの題材を通して必要な情報を読み取ったり、自国と外国との文化の違いを理解し話し合う。関連する語句を確認し、その情報をもとに適切な表現活動を行う。</li> <li>・学習のポイントは、接続詞、現在完了、使役動詞、動名詞、比較級などである。コミュニケーション活動に生かせる知識を身に付け、語彙力や表現力を高めることである。</li> </ul>		
	3 学期	Lesson 14 Floating on Lake Titicaca (FEATURE) Traveling in Taiwan	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題や、台湾の観光地に注目し観光資源をどのように守っていくか考え、話し合う。学習のポイントは、受動態に慣れてプレゼンテーション能力を身に付けることである。</li> </ul>		
観点別 評価	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
	本文を読んだ後に、感想や意見を発表しようとしたり、発表をしっかりと聞いたりする。また本文内容に関する質問に積極的に答えようとする。	本文に関連する自分の経験や、本文への意見をクラスメイトに説明することができる。パラグラフごとに本文の内容を要約することができる。	聞いたり読んだりした英語の題材について概要や要点をとらえることができる。また、そのために必要な語句や表現、文法事項などの知識を活用することができる。	英語の音声的な特徴や英語を使用している人々の文化的背景について理解している。また、語句や表現、文法事項などの知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基き、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2
学年	3年	類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	生活産業基礎(実教出版)				
副教材(出版社)					
授業の概要	(1)生活の変化と生活産業、(2)生活の変化に対応した商品・サービスの提供、(3)生活産業と職業、(4)職業生活と自己実現の4項目で構成しており、体験的な学習を通して専門的な学習への意欲を高め、勤労観、職業観を身に付ける。				
授業の目標	衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1章 「生活産業基礎」を学ぶ 1節 私たちの生活と「生活産業」 2節 「生活産業」のスペシャリストになるために 第2章 生活に対応した商品・サービスの提供 1節 消費者ニーズの把握 2節 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供 3節 関連法規 第4章 衣生活関連分野の産業と職業 1節 衣生活の変化と生活産業のかかわり 2節 衣生活関連産業の職業と資格	・近年の社会の変化と産業構造の変化に伴って、働き方やライフスタイルが多様化していること、人々のニーズの変化を的確に捉えた商品・サービスが提供されていることを理解する。 ・消費者ニーズを把握するための調査方法や、結果の活用方法を知る。 ・商品やサービスの企画、開発から販売・提供の仕組みを知り、具体的に商品開発について考える。 ・商品やサービスに関する法規を理解する。  ・人々の意識の多様化により、ファッションが多様化していることを理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。		
	2 学期	第3章 食生活関連分野の産業と職業 1節 食生活の変化と生活産業のかかわり 2節 食生活関連産業の職業と資格 第6章 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業 1章 社会の変化とヒューマンサービス 2章 ヒューマンサービス関連産業の職業と資格 第5章 住生活関連分野の産業と職業 1節 住生活の変化と生活産業とのかかわり 2節 住生活産業の職業と資格	・外食・中食産業、食品流通業の意義と役割を理解する。 ・消費者のニーズや消費行動に対応した商品・メニュー開発、販売やサービスの方法に関心を持つ。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。 ・ライフスタイルや価値観の多様化によってヒューマンサービス関連分野に対する需要が高まっている状況を認識し、意義と役割を理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。 ・住生活に関わる産業の意義と役割を理解し、人々がライフスタイルや価値観に合った住居を求めていることを具体的な事例を通して理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。		
	3 学期	第7章 職業生活と自己実現 1節 職業生活と生きがい 2節 将来の生活と学業	・生活産業にかかわる職業人に求められる資質・能力について理解する。 ・生活産業のスペシャリストとして働くことが自己実現につながっていくことを理解する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	生活産業に関連する職業の種類や特徴について関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	生活産業に関連する調査・実習等を通して、生活産業の意義や役割について思考を深めている。	生活産業に関連する調査等から情報を整理したり、実習内容について理解し、表現することができる。	生活産業の種類や特徴を理解し、関連する職業に関わる知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評定を平均し、総合的に評価する。				



教科	商業	科目	課題研究	単位数	3
学年	3年	類型	地域ビジネス科		
教科書(出版社)	課題研究の手引き(松山商業高校)				
副教材(出版社)					
授業の概要	財務諸表に関する基礎的な知識と技術の習得に重点を置く。また、利害関係者に会計情報を提供する能力と態度及び、提供された会計情報を活用する能力と態度を育成する。				
授業の目標	1 財務諸表の作成に関する知識と技術を習得する。 2 財務会計の意義や制度について理解する。 3 会計情報を提供し、活用する能力と態度を身に付ける。				
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学 期	第1編 企業会計の基礎	・資産、負債、純資産の種類と会計処理及び財務諸表の作成をとおして、企業の財政状態を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。		
		第2編 資産			
		第3編 負債			
		第4編 損益計算	・損益計算の意味と損益の区分、収益・費用の認識と測定及び損益計算書の作成をとおして、企業の経営成績を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。		
		第5編 財務諸表の作成			
2 学 期	第6編 財務諸表の活用	・財務諸表分析の意義及び財務諸表の見方について学び、財務諸表を活用するための基礎的な知識と技術を習得する。 ・連結財務諸表の目的と連結の範囲及び連結財務諸表の基礎について学び、連結財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。			
	発展学習	・日商簿記検定の問題や全商会計実務検定の問題、大学入試センター試験の問題や大学入試の問題演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。			
3 学 期	発展学習	・日商簿記検定の問題や全商会計実務検定の問題、大学入試センター試験の問題や大学入試の問題演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。 ・企業の経営者や社会人としての倫理観等を身に付ける。			
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	財務会計に関する学習に興味・関心を持ち、授業や課題に対して意欲的に取り組むなど、知識の深化と技術の向上に努めている。	会計に関する法規や基準の変更に対応し、適切な財務諸表を作成したり、利害関係者にとって有用性の高い分析をしたりするなど、主体的な判断を基に正確な作業ができる。	会計情報を利害関係者に提供する能力と態度及び提供された会計情報については、ビジネスの諸活動に適切に活用する能力と態度を身に付けている。	財務会計に関する基礎的・基本的な知識と帳簿作成技術、各種の数値を算出する方法を身に付けるとともに、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解している。	
備 考	考查点：70% 平常点(授業態度、提出物、課題、検定試験等)：30%				

教科	商業	科目	ビジネス経済応用	単位数	2
学年	3年	類型	地域ビジネス科		
教科書(出版社)	ビジネス経済応用(実教出版)				
副教材(出版社)	ビジネス経済応用問題集(実教出版)				
授業の概要	需要や供給などのミクロ経済理論及び景気循環や経済政策などのマクロ経済理論の基礎的な内容を学習させる。				
授業の目標	1 ビジネスに必要な経済に関する知識について学習し、経済社会の動向を理解する。 2 サービス経済社会に適切に対応する能力や態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1章 サービス経済化とサービス産業 1 産業構造の変化と労働 2 サービス産業の現状 第2章 経済の国際化 1 企業の国際化・グローバル化 2 国際化の進展と国際収支 3 貿易の利益と課題 4 国際資本移動 5 外国為替	・わが国における産業構造の移りかわりや、サービス経済化の進展要因について、労働市場の変化、消費構造の変化を通して理解する。 ・対個人サービス産業や対事業所サービス産業の現状について、ビジネスの機会をとらえて成長した企業の具体的な事例を通して理解する。 ・企業は成長を求めて国際的なビジネス活動を展開し、その活動が国際化からグローバル化へ進展していることを理解する。		
	2 学期	第3章 金融市場と資本市場 1 金融取引の発達 2 貯蓄と投資の動向 3 金融市場と資本市場の役割 4 金融市場と資本市場の課題 第4章 企業経営 1 企業経営の特色 2 企業経営と外部環境 3 企業の社会的責任 4 企業の海外進出と経営	・金融市場の概念とその意義について確認し、企業の営業活動と資金調達を通して短期金融市場の概要について理解する。 ・資本市場の概要について、債券市場と株式市場を中心に理解する。 ・日本的経営の特色について、基本的な知識や概念の理解を通して考える。 ・経営理念の重要性について考察する。 ・企業の社会的責任を、具体的事例を通して把握し、その質的变化や環境問題への取り組み、社会貢献が求められている現状について考察する。		
	3 学期	第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興 1 起業の手続き 2 新たなビジネスの展開 3 地域ビジネス事情	・起業の意義と経営理念の重要性、また、起業に対する支援制度について理解する。 ・事業目的や商号の決定、定款の認証と登記など、株式会社設立のための手続きの流れについて理解する。 ・わが国における新たなビジネスの現状について、具体的な事例を通して理解する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	経済社会の動向について理解することを目指して、主体的に取り組もうとしている。	経済社会の動向について理解することを目指して、思考を深めている。	経済社会の動向への考察やサービス経済社会に適切に対応する基礎的・基本的な技術を身に付け、活用することができる。	経済や企業経営に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。サービス経済社会に適切に対応することの重要性について理解しているか。	
備考	<b>考查点</b> ：70%、 <b>平常点(授業態度、提出物、課題等)</b> ：30%				

教科	商業	科目	財務会計Ⅰ	単位数	2
学年	3年	類型	地域ビジネス科		
教科書(出版社)	財務会計Ⅰ(東京法令出版)				
副教材(出版社)	完全段階式標準検定簿記問題集会計(東京法令出版)				
授業の概要	財務諸表に関する基礎的な知識と技術の習得に重点を置く。また、利害関係者に会計情報を提供する能力と態度及び、提供された会計情報を活用する能力と態度を育成する。				
授業の目標	1 財務諸表の作成に関する知識と技術を習得する。 2 財務会計の意義や制度について理解する。 3 会計情報を提供し、活用する能力と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第Ⅱ編 貸借対照表 第8章 貸借対照表の作成  第Ⅲ編 損益計算書 第3章 損益計算書の作成 第4章 その他の財務諸表	・資産、負債、純資産の種類と会計処理及び貸借対照表の作成をとおして、企業の財政状態を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。  ・損益計算の意味と損益の区分、収益・費用の認識と測定及び損益計算書の作成をとおして、企業の経営成績を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。		
	2 学期	第Ⅳ編 財務諸表活用の基礎 第1章 財務諸表の意義 第2章 財務諸表の見方 発展的な内容  第Ⅴ編 連結財務諸表 第1章 連結財務諸表	・財務諸表分析の意義及び財務諸表の見方について学び、財務諸表を活用するための基礎的な知識と技術を習得する。  ・連結財務諸表の目的と連結の範囲及び連結財務諸表の基礎について学び、連結財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。		
	3 学期	模擬演習	模擬演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	財務会計に関する学習に興味・関心を持ち、授業や課題に対して意欲的に取り組むなど、知識の深化と技術の向上に努めている。	会計に関する法規や基準の変更に対応し、適切な財務諸表を作成したり、利害関係者にとって有用性の高い分析をしたりするなど、主体的な判断を基に正確な作業ができる。	会計情報を利害関係者に提供する能力と態度及び提供された会計情報については、ビジネスの諸活動に適切に活用する能力と態度を身に付けている。	財務会計に関する基礎的・基本的な知識と帳簿作成技術、各種の数値を算出する方法を身に付けるとともに、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解している。	
備考	考査点：70% 平常点(授業態度、提出物、課題、検定試験等)：30%				

教科	商業	科目	松山学Ⅲ	単位数	2
学年	3年	類型	地域ビジネス科		
教科書(出版社)	学校設定科目「松山学Ⅲ」(松山商業高校)				
副教材(出版社)					
授業の概要	1 地域と連携した活動を通して、地域に対する誇りと愛情を醸成し、地域活性化に対する使命感を持つ。 2 学校の内外において、実践的・体験的な学習を行う。				
授業の目標	1 松山や愛媛の経済や観光、文化、歴史、産業などへの理解を深めさせるとともに、地域社会の現状や願いについて理解させ、地域の様々な課題について主体的に考察する。 2 観光産業や地場産業の振興などについて考えさせるとともに、地域活性化に寄与する具体的な実践活動を行わせることで、松山や愛媛の未来を担う人材として必要な能力と態度を育成する。				
年間 学習 計画 表	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 ガイダンス (1) 「松山学」について (2) 「1000日実習」  2 地域活性化に寄与するイベントの規格と開催 (1) 地域の現状とニーズの把握 (2) 企画の立案 (3) イベントの開催	・学習の目標と心得、学習方法を理解する。 ・企業の経営戦略や社会的責任、地域の現状や地域に対する経営者の思い等について理解し、地域への愛情と誇り所属意識を醸成する。  ・地域の現状とニーズに合致した地域活性化イベントを開催する。  ・イベント内容の決定、役割分担、予算案の作成、スケジュールの作成、協力依頼等外部との折衝、告知方法の検討、経費の管理、収支報告などについて、的確な実践に努める。 ・地域との積極的な協働を推進する。 ・一人一人が主体的、協力的に取り組む。		
	2 学期	3 ポートフォリオの作成  4 研究機用の作成	・自分自身の取組を客観的に振り返り、自己有用感や自己肯定感を醸成する。 ・自分自身がこれまでに獲得してきた知識や技術を整理する。  ・これまでの学習の成果を文書で著すことを通して、適切な表現の方法を身に付ける。		
	3 学期	5 地域の諸課題 6 班別実習報告会 7 自己評価	・地域活性化等に関する取組事例から、地域の諸課題についての理解を深め、地域活性化へ向けた使命感を養う。 ・班別実習の成果を共有する。 ・一人一人が、自分だけの特別な経験を蓄積する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	・地域の現状や課題、地域に暮らす人々の願いについて理解しようとしているか。 ・積極的な態度でワークショップや実習に参加しているか。	・実践的、体験的な活動を通して獲得した知見をもとに、地域に活力や魅力を与えるためには何をしなければならないか、自らのアイデアを持っているか。	・地域の課題を解決する活動や地域貢献活動を推進し、地域に活力や魅力を創出できているか。 ・自らの考えを他者に的確に伝えることができているか。	・地域の現状や課題、地域に暮らす人々の願いを理解し、地域に対する愛情と誇り、地域活性化を担う使命感を持つことができているか。	
備考	取組に対しての計画書、報告書、発表等の成果物を評価する。また、出席状況と取組に対する積極的な姿勢や態度も評価する。さらに、新しいものを創造しようとする過程における創意工夫の有り様とその実績も評価する。				